



朝風

平成 24 年度
学校 10 月号①
大 仙 市 立
大 曲 南 中 学 校

10 月の乾坤一筆

〈いのち〉は誰のもの

校長 黒田 清 志

今年、最大の台風 17 号も無事に太平洋岸に抜け、農作物への被害も少なく、稲刈りの終えていない方々にとっては一安心ではなかったでしょうか。この台風 17 号の通過とともに、銀杏の葉が黄色に染まる日も間近と思えます。この季節の移ろいは、私たちをふっと立ち止まらせ、日ごろは深く考えず、時には、やり過ぎしてしまっているようなことについて、考えるきっかけを与えてくれます。先日このような話を聞きました。

小学校の担任の先生が『いのちは誰のものだと思う?』と児童に問いかけたそうです。〈自分のもの〉と答えた児童が多かった中で、〈自分のものではない〉と答えた一人に、『どうして?』と聞いたところ、『だって、おばあちゃんが死んだとき、みんなが泣いていたから』と答えたそうです。生徒の皆さんだったらどう答えるでしょうか。この話を聞いたとき、私は、相田みつをの詩集『にんげんだもの』にある『自分の番 いのちのバトン』という詩を思い出しました。こんな詩です。

父と母で二人 父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうして教えていくと
十代前で 千二十四人 二十代前では～?
なんと 百万人を超すんです
過去無量のいのちのバトンを受けついで
いま ここに自分の番と生きている
それがあなたのいのちです
それがわたしのいのちです

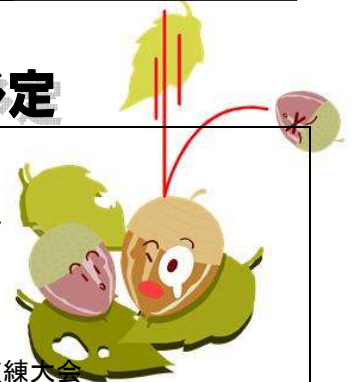


〈いのち〉という目には見えないものを、陸上競技のリレーで使うバトンにたとえて表現しているのだから、〈いのち〉のつながりや広がり、そして、だからこそ重いということに気づかせてくれます。〈いのち〉は、自分だけのものではないのです。親から受け継いだ〈いのち〉のバトンを持って、今、正に生きているのは自分であり、自分の周りのすべての人たちです。人のバトンを奪うことは、決してしてはならないし、自分のバトンを自ら放棄するような行為もしてはいけないのです。

今、全国で「いじめ」について毎日のように新聞やテレビで報道されています。自分も他人も尊重し、互いによりよく生きる努力ができる毎日にしていきましょう!!

10 月の予定

- 1 (月) 学校安全日
- 4 (木) 選挙告示
- 6 (土) 予行 前日祭
前期終業式
- 7 (日) **南中祭**
- 8 (月) 体育の日
道場対抗剣道練大会
美郷町オープン卓球 (リリオス)
- 9 (火) 秋季休業 (~10日)
福島県本宮市教育関係者学校訪問
- 11 (木) 6日の振替休業日
- 12 (金) 7日の振替休業日
- 13 (土) 南のこども音楽会 (市民会館小ホール) 田沢湖 SC 卓球大会
- 15 (月) 後期始業式
岩手県宮古市教育関係者学校訪問
- 16 (火) パワーアップタイム①
- 17 (水) 美郷町新人駅伝
- 18 (木) パワーアップタイム②
- 19 (金) 専門委員会 立候補者受付締切
- 22 (月) 3年生実力テスト 職員会議
- 23 (火) ミニ駅伝・マラソン大会
ナベッコレク テーマ集会
- 24 (水) 薬物乱用防止教室 (1年生)
- 25 (木) 思春期ころの健康講座
- 26 (金) 仙教研秋季研究大会 (生徒休業)
- 29 (月) 生徒会選挙
- 30 (火) 芸術鑑賞 (わらび座)
- 31 (水) パワーアップタイム③



大仙市PTA連合会 研修会「講演会」 学長は語る!

9月23日(日)、広域交流センターを会場に大仙市PTA連合会研修会が行われました。今年度は、国際教養大学学長の中嶋嶺雄氏を講師にお迎えしての講演会「グローバル化と人材育成～英語教育について～」です。本校からは、竹内PTA副会長、照井PTA研修部長、佐藤PTA副研修部長、山本、後藤が参加しました。

お話は、「グローバル化と国際化」「知の鎖国と

日本の大学」等、難しい内容でしたが、いくつか興味深いお話がありましたので紹介いたします。

- ・「（アップル社の創始者の）Steve Jobs氏が、国際教養大の理念と同じことを言っていた。」
- ・「日本のためなところは、能力別の授業をやらないこと。」
- ・「情操教育を大切に。そうした教科の先生方が肩身が狭いようじゃダメ。」
- ・「もうちょっと子どもたちに勉強させないと。」
- ・「知的世界の広がりか人生最大の喜び。」
- ・「外から来た者から見て、秋田県の点数がいいのは、①おじいちゃん、おばあちゃんと暮らしている割合が高いこともあってか、子どもの心理が安定している。②教員が優秀だ。③秋田のいなから優れた人物が出ていることからわかるように知的コミュニティがある。」
- ・「英語はNative（*英語を母国語にしている人）にはかなわない。けど、コミュニケーションの手段と考えて勉強しないと。」

毎日を送ることができます。そうした流れが南地区から広まれば **Good!**

たまには「ベタな日常的情報」も

【その1】3年生は、美術の授業で自由な発想の立体表現に取り組んでいます。題して「非現実的な状況と動物の組合せフィギュア」です。どんどんアイデアを出すことのできる生徒もいれば、固まってしまう生徒もいるそうです。授業の合間に、指導の高橋教諭が生徒への見本として（サササッと）作成したのが写真のフィギュアです。さて、モデルは本校職員ですが、だれかわかりますか？なお、作品は南中祭で展示いたしますので楽しみに！



【その2】中間テストが終わって、生徒にテストが返却されました。例えば、1年生の英語の時間の様子。生徒の名前を読み上げた教科担任からテストを受け取ると、「〇〇君、何点？」「勝った！」と友達と比べる生徒や「（合計で）〇〇点超えた！」と小さくガッツポーズを取る生徒など様々です。配点の説明をしようとする先生の声はあまり聞いていません。考えてみると、合計何点という発想は小学校時代にはあまりなかったはず…。3年生は今盛んに気にしていますが…。

地球にエコポイントをつけよう!

「社団法人 あきた地球環境会議」の福岡真理子さんをお招きして、1年生を対象に「南中野菜を使ったエコクッキング教室」を開催しました。今回の料理は、サラダそうめん、こだわったのはドレッシングだそうです。（写真参照）

<ドレッシングA>

ゴマ油 酢 塩

<ドレッシングB>

マユネーズ そばつゆの素



買い物のエコ・ポイント	① 歩いて or 自転車で出かける。 ② 秋田産の旬のもの・包装の少ない商品を買う。 ③ エコバックを持参する。
調理のエコ・ポイント	① 地産の無農薬野菜（皮も調理）で食材を使い切る。 ② 薄く、細かく火が通りやすいように工夫する。 ③ 鍋底の水滴はふき取る。
後片付けのエコ・ポイント	① まとめ洗い○ 流水× ② 溜めすぎをする。 ③ 生ゴミの水をきる。



もちろん、ただ食べるだけではなく、エコのポイントについても学習しました。日常生活をちょっと見直すことで、地球に優しい

平成24年度「南中祭」

10月7日(日)9:00~

生徒、職員一同
多くの皆様のご来校を
お待ちしております。